

学術情報ウェブサービス担当者研修 2014を振り返って

京都大学附属図書館
情報管理課雑誌情報掛
塩野真弓

目次

- 自己紹介、受講動機
- 昨年のウェブ研修
- 印象に残ったこと
- 最後に…

自己紹介

- 京都大学図書館
 - 附属図書館の他、約50の図書館・室
 - 蔵書数：約680万冊



自己紹介

- 2007年4月～
薬学研究科図書室（収書・目録業務）
- 2008年4月～
文学研究科図書館整理掛（収書・目録業務）
- 2011年4月～
人間環境学研究科・総合人間学部図書館
情報管理掛（収書業務）

自己紹介

- 2013年4月～

附属図書館情報管理課雑誌情報掛

- **電子リソース**の管理業務

- 電子ジャーナル/データベース/電子ブック
- 電子リソース管理システム（ERMS）
- ディスカバリーサービス

受講動機

- 日々の疑問：利用者目線に立てているか？
 - 使いやすいウェブサービスって？
 - どんなものが支持される？
- ウェブサービスの最新の動向を知りたい
- 仕様書作成の参考になれば…
- ウェブ研の過去のTogetter等を見て興味を持った

昨年の流れ

- アンカンファレンスによるテーマ設定
- グループワーク
 - 1日目：サービスの企画
 - 2日目：企画・設計と仕様策定
中間発表（ワールドカフェ方式）
 - 3日目：最終発表

アンカンファレンス

- テーマは受講生の意見で決めた
 - 全員からテーマを集めてミニ討議
 - ⇒ 班の数に合わせてテーマを絞る
- 後悔したこと
 - 自分のテーマを遠慮して言えなかった…
 - テーマがある人は勇気を出してぜひ！

グループワーク

1日目：サービスの企画

- ブレインライティング
 - 全員参加のアイデア会議
 - ひねってひねってひねり出す！

サービスの**核**になるアイデアを**共有**



※写真は全て昨年度の研修より
(Academic Resource Guide, Inc. 2014)

グループワーク

V

Vision:実現すべき未来

M

Mission:達成すべき使命

S

Strategy:実施すべき戦略

O

Objectives:到達すべき目標

グループワーク

2日目：サービスの設計と仕様策定

企画書＋仕様書

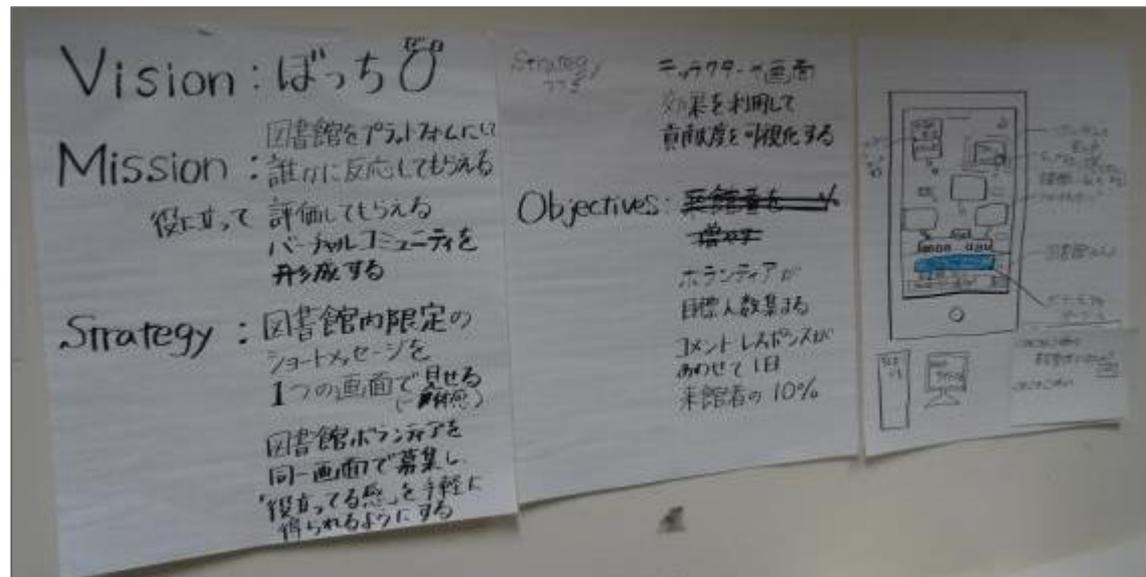
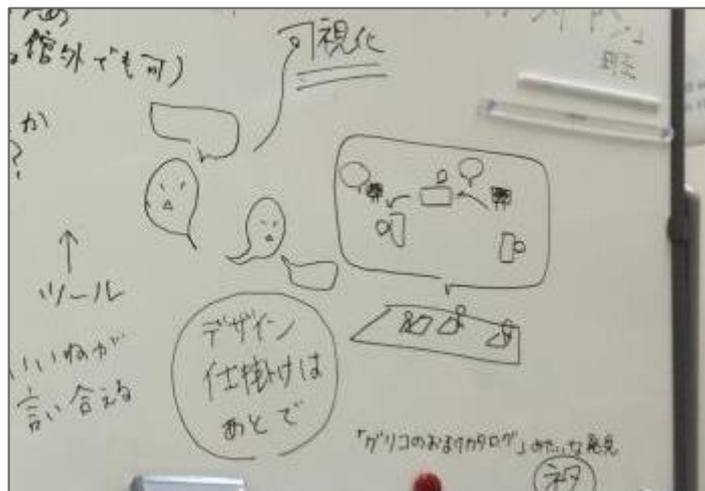
館内や学内、あるいは発注先事業者に提示する企画書と要求仕様書（実現したい機能・動作を論理的に言語化するレベル）を作成できるようになる

企画書：VMSOに基づいて作成

仕様書：最低1パターン画面遷移を説明

グループワーク

- とにかくアイデアを出す
- とにかく書（描）いてみる
- 捨てることが超重要
 - VMSOに照らし合わせて、違和感がないか？
 - 一つだけ機能を残すとしたら？
- ワールドカフェ方式の中間発表
 - 他グループの意見を最終発表に生かす



※写真は全て昨年度の研修より
(Academic Resource Guide, Inc., 2014 / NII, 2014)

グループワーク

3日目：最終発表

- 採用/不採用を投票で決定
- 質疑が採否を分ける！かも

印象に残ったこと

- うまく言葉にできない考えを共有する面白さ
- 全員参加の納得感
- 様々な大学の状況・事例が参考になった
- “全く新しいサービス”を考案するところまでは難しかった

他の昨年度受講生より

ウェブ研を受けてよかったことは？

- グループワークの手法やツール、企画書を作る上で大切なこと等を学ぶことが出来た
- 「書いてみる」ことで議論が進んでいくのを実感できた
- 他グループとの交流を通じて、第三者を納得させるための目線が養われた
- 他大学の取り組み等を聞くことが出来て大収穫
- SNSでの情報発信のVMSOについて考えるようになった

最後に…

- 有意義な研修になるかはみなさん次第。
- ファシリテーターもオブザーバーもどんどん活用してください！
- たくさんの人と交流しましょう。
- 体調管理には気をつけましょう。

3日間よろしくお願ひします！